



かめおか 市議会だより



No.200

亀岡市観光マスコットキャラクター
明智かめまる

2024年(令和6年)4月30日

3月議会



フォーカス



亀岡市消防団 第5ブロック
林野火災防ぎょ中継訓練

右上「フォーカス」は、セーフコミュニティ
認証都市のロゴです。日本初の国際認証に
加えて、昨年、日本初の国内認証を取得。
安全安心のまちづくりを市民のみなさんと
一緒に進めています。

防災・減災施策を含む一般会計予算可決

多くの議員が防災関連の質問
備える！



能登半島地震被災地へ
出発するトイレトレーラー



第25回全国女性消防操法大会
(つつじ分団が出場)



かめまるくんと しんがくんの 議会とーく

税金を市民のためにどう使うかを 決める予算審査の3月議会

市民にわかりやすく

開かれた議会をめざして わいわい! わくわく!



わがまちトーク 大募集

わたしも話せる! わかちあう! わになって話そう!

プレイバック わがまちトーク

コロナ前の最後に行われた千代川町のみなさんとのわがまちトークの様子です。



(令和2年2月8日開催・千代川町自治会)

今回の形式は話しやすく、議員と接する良い機会になった。

通学路のルート見直しや防犯対策を。

1年を通して水遊びができる場所があればいいな。

道の駅のような施設が千代川インター付近にできないかな。

議員の活動を身近に感じることができた。

町民として、市と結束してまちづくりをしていきたい。

亀岡市議会では、「わがまちトーク」を5年ぶりに復活・開催します。地域の代表が、最優先の地域要望を市長に伝える市の「地域こん談会」とは一味違い、小グループに分かれたワークショップ形式で、皆さまと議員がいっしょになり、みんなで「わがまち」の将来を気兼ねなく意見交換する場です。皆さんのアイデアが未来の亀岡市に必要です。ぜひ、「応募ください」。

いろいろしゃべり合いませんか? ーご応募をお待ちしていますー

募集要項

【対象】市内の各団体や、グループの皆さん

【日程】令和6年秋以降(お申し込み後に調整します)

【内容】例)「わがまちにこんなものがあったらいいな」「未来のまちづくり」に提案します! など、テーマも含めてご応募ください。

応募方法
こちらから

より読みやすく
より分かりやすい
議会だよりを
めざします

全ページがカラーに

今号から、綴じ用に使っていた穴をなくすことで、同じ予算の範囲内ですべてのページをカラーにすることができました。(綴じの方はご自身で穴をあけてください。ゴメンナサイ。カラーページになることで、より見やすい紙面づくりに努めてまいります。

おかげさまで
200号!

ご愛読いただきありがとうございます。これまで以上に読みやすく分かりやすい議会だよりになるよう、みなさんのご意見・ご感想をぜひお寄せください。
(議会事務局まで)

ところで、しんがくん。3月議会は、能登半島地震もあったので、一般質問では災害対策の話題が多かったね。それと、2月の中旬から始まって3月末まで期間が長かったね。



亀岡市観光マスコットキャラクター 明智かめまる

えっ?... 何かなあ。よくわからないけど

ねえ、かめまるくん。何か気づかない?



石田梅岩イメージキャラクター しんがくん

一般質問した議員の半数が防災・減災関連を取り上げていたよ。
【※8ページから一般質問を紹介しています】

3月議会は、次年度予算の審査がメインで時間がかかるんだけど、今年度中にすべき施策に係る補正予算や、4月施行の条例案も多いから開会期間がいつもより長くなるね。



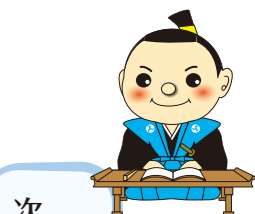
予算審査で白熱した議論の場面を見たかったなあ。どんな予算が目目されたのかな?



それなら「市長質疑」だね。予算特別委員会の各分科会で審査した中から抽出した項目について、再度市長に直接聞くんだよ。
【※詳しくは4.5ページをみてね】



そうなんだね。補正予算や条例で注目すべきことはあるの?



可決した主な議案は 次の通りだよ!

補正予算

- ・物価高騰対策として低所得者世帯への支援給付金
- ・全学校への防犯カメラの設置 など

新規条例

- ・環境プロモーションセンターの設置
- ・安全な保津川利用の責務と協議会設置 など

条例改正

- ・精神障がい児者の医療費自己負担への支援
- ・消防団員の年額報酬の増額 など

【※詳しくは6ページをみてね】

しんがくん、ありがと! あっ! 今気がついた。このページ、カラーになってる!





TOPICS!

犬と暮らしやすいまちとは何の事業か? どう展開していくのか?

動物管理指導経費(378万円)

昨年は亀岡を新しい切り口で売り出すための広報経費で冊子「犬と亀」が発行された。今年は犬のマナーなどが中心テーマで、所管課が変わったのはなぜか。今後、どんな展開を考えているのか。また市民にわかりやすいタイトルにするべきではないか。



市長 発信の中心は「マナーアップ」。今後話題になり「住んでみたいまち」として共感の輪が広がればと思っている。タイトルの「亀」という言葉は、本来めでたい漢字。そのイメージがあり、名称変更は考えていない。

議会 「犬と亀」はやはり抽象的でわかりづらい。「亀」という言葉に違和感を覚える人もいる。

市長 「犬と亀」って一体なんだろう?と興味を持ってもらうことを狙ったキャッチコピーである。

TOPICS!

給食センターの老朽化

給食センター管理経費(500万円)

現状は、対症的な修繕で対応しているが、安全面及び運営面の心配もあるため、根本的な改修が必要ではないか。

教育長 根本的な改修には数億円かかる。専門業者に依頼して、その都度改修している。

議会 老朽化の度合いは「待たなし」の状態。故障や事故が起これば給食がストップし、職員が負傷する可能性もあり得る。

教育長 そこまで酷い状況と認識していない。現状を把握し対応したい。

TOPICS!

亀岡ジャズフェスへの補助金

文化振興経費(300万円)

自主財源で実施されてきたイベントに対し、市政アドバイザーを配置し、新規に補助金を交する理由は。

市長 高槻市のイベントと亀岡ジャズフェスは姉妹関係にあり、高槻市は補助している。にぎわいや駅周辺の活性化など、経済効果も十分にある。

議会 300万円の補助は今後も続けるのか。市内には文化財保護に自費運営している団体もある。大事な活動にも支援は考えられないのか。

市長 民営を前提に寄付集めなどを継続した。有名アーティストを呼んだり、亀岡をアピールするための補助金と考えている。文化財保護にも支援を考えたい。

議会 環境部局の取組は「マナーアップ・使用者責任」であり、ミスマッチなネーミングでは。

市長 犬をキーワードにまちづくりをするには基本的なマナーから構築する必要がある。それを発信することが、亀岡をアピールするシティプロモーションにもつながる。議員各位がもったその疑問が自身を見てみようという気にさせていると考えている。次年度は環境と広報の両方を担当として、議会にも報告することにした。

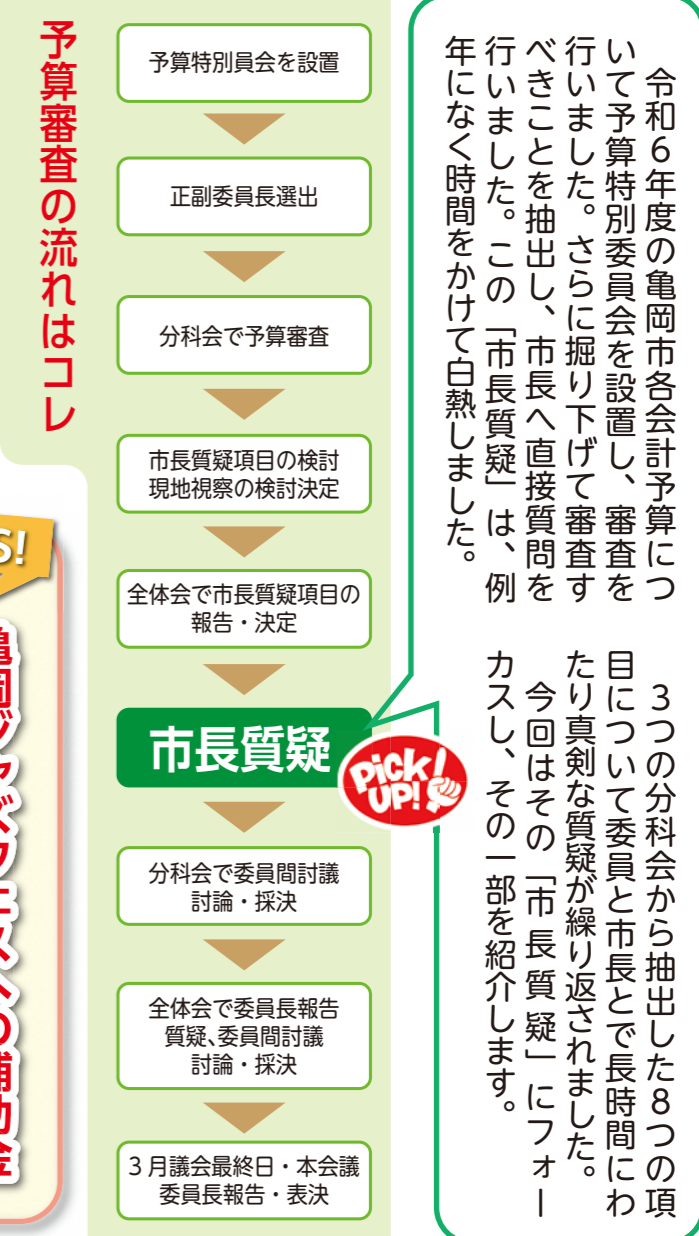
TOPICS!

木造住宅耐震化促進を

安全なわが家の耐震化促進事業費(1222万円)

能登半島地震を受けて、木造住宅耐震化促進の取組を拡充する考えは。

市長 能登半島地震以降「耐震改修補助金」の問い合わせが多い。府内17市町村が事業を拡充するので、本市も、令和6・7年度に限り、市費の補助限度額を25万円から50万円に拡充し、国・府負担分を含めて最大150万円に引き上げたい。今後予算の不足等が発生したら、補正予算を上程させていただく。



指摘要望をつけ賛成多数で可決 これらの質疑を経て、令和6年度一般会計予算は賛成多数で可決しました。議会は市長に対して、以下の3つを指摘要望しました。

- 亀岡ジャズフェスティバルについては、補助金の使途を明らかにし、効果や在り方を検討してほしい。
- 学校給食センターについては、老朽箇所を早急に点検し、根本的な対応を実施してほしい。
- 冊子の発行は、名称も含め市民にとって分かりやすく、ニーズに沿ったものにし、発行するだけでなく、動物愛護を核とした施策を計画的に進めてほしい。また、進捗状況を委員会に報告してほしい。

その他の市長質疑への抽出項目

- いじめ防止対策経費においてスクールロイヤーの効果と適応範囲は。
- 通学安全対策経費において、育親学園開校が迫っているが、バス運行をはじめ、すべての事項について、子どもの学びと教職員の業務がスムーズに始められるようにすべき。

公園緑地整備事業費において、全国都市緑化フェア開催による事業効果は。本市の発展にどのようにつなげていくのか。緑花協会や観光協会など関係機関との連携、市民機運の醸成についての考えは。

商工業振興対策経費において、かめおか共創支援プロジェクトの今後の展望は。オープンイノベーションセンター・亀岡とどのように連携し、地域経済の発展につなげていくのか。

本会議での討論



Table with 4 columns: 議員名, 議案, 賛成/反対, 議員名, 議案, 賛成/反対. Lists various council members and their positions on different proposals.

全員賛成で可決した議案

Table with 4 columns: 付託先, 件名, 結果, 付託先, 件名, 結果. Lists numerous proposals that were unanimously approved, categorized by committee such as '予算特別' and '環境市民'.

賛否の分かれた議案



Table with 4 columns: 付託先, 件名, 結果, 付託先, 件名, 結果. Lists proposals that were not unanimously approved, showing the split in votes.

※右上のコードを読み取ると、市議会のホームページで賛否の状況を見ることができます。

総務文教常任委員会

○学校に防犯カメラを設置

一般会計補正予算(第8号)可決(全員賛成)

学校施設管理経費 3771万1千円増 市内全小・中学校、義務教育学校に防犯カメラを設置する。

【主な質疑】

問 学校における設置場所と台数は。

答 校舎の出入口付近に設置し、1校当たり4基から6基を考えて

○消防団員報酬拡充へ

亀岡市消防団条例の一部改正 可決(全員賛成)

消防団員の処遇を改善し団員を確保するため、部長、班長及び団員の報酬を増額する。

【主な質疑】

問 令和6年度以降も国の示す基準まで増額していくのか。

答 消防団員報酬は、国の示す基準では、団員で3万6500円と

環境市民厚生常任委員会

○情報発信と人の交流を促進

亀岡市環境プロモーションセンター設置 条例の制定 可決(全員賛成)

亀岡市が取り組む環境施策を広く発信するとともに、人々が集い、交流を深める場を提供するため、保津町に環境プロモーションセンターを設置する。

【主な質疑】

問 どのような施設なのか。

答 環境保全・美化、資源循環の取組などを見える化するなど、環境

○対象者に精神障がいを追加

亀岡市福祉医療費支給条例の一部改正 可決(全員賛成)

府市共同事業として、重度心身障がい児者に医療費の自己負担を支給してきたが、条例改正し、精神障がい

対象者に追加する。

産業建設常任委員会

○安全安心な保津川の利用に向けて

亀岡市保津川における舟運事業等の安全の確保等の推進に関する条例の制定 可決(全員賛成)

保津川における舟運事業等の事故防止および保津川の良好な河川環境の保全を図るため、市、事業者および利用者の責務などを明らかにし、連絡調整を行う協議会を組織できることなどを定めるもの。

【主な質疑】

問 本条例における事

○川の駅で宿泊キャンプを開始

川の駅・亀岡水辺公園条例の一部改正 可決(全員賛成)

川の駅・亀岡水辺公園の利用促進を図るため、新たに宿泊キャンプが可能になるなど、使用規定を見直すもの。

【主な質疑】

問 住宅が近いため夜

業者と一般の利用者のすみ分けは。 事業者は、乗客や従業員の安全確保等の推進に努める責務があり、利用者は河川環境の保全を図るよう努めるものとしている。 京都府や京都市との連携については条例に定めるのか。 連携については、安全確保等を推進する市の責務に含まれると考えており、しっかりと取り組んでいく。

川の騒音などが心配である。もし近隣から苦情があった場合はどのように対応するのか。 夜間も指定管理者に対処可能な体制をとっていただく。問題が解決しない場合は宿泊キャンプの利用を一時中止するなどの対応も検討していきたい。



3月議会では、6人の議員が会派代表質問、16人の議員が個人質問を行いました。その主な問答を掲載しています。(文責は各議員にあります。)なお、全ての質問項目や会議録は、亀岡市議会ホームページでご覧いただけます

一般質問とは、議員が市の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行状況や方針などを質問することをいいます。議長は、一般質問を行いません。

公明党議員団

能登半島地震の倒壊被害を教訓に、木造住宅耐震化助成の拡充を



富谷加都子 議員

富谷 京都府が、時限的に耐震改修補助額の上限を50万円に引き上げているが、本市の対応は。

市長 府の補助要綱などが定まり次第、府費の拡充分

障がい者(児)の声を反映した施策を求める

富谷 ①京都中部総合医療センターへの透析患者の送迎支援について所見は。②視覚障がい者の投票支援として、投票用紙記入補助具を導入する考えは。③障がい者(児)の外出支援として、ユニバーサルシートを設置する考えは。

市長 ①通院に負担を感じている方については、送迎がある亀岡市内の医療機関の情報などを提供していきたい。②投票記載補助具の利用など、投票しやすい環境の整備に努めていく。③公共施設から推進できるよう検討していきたい。

を補助金に反映させたい。

富谷 倒壊の危険性が高い2000年5月以前に着手した建築物も耐震化支援として拡充する考えは。

市長 まずは、倒壊の危険性が高い1981年5月以前に着工した住宅の耐震化支援を継続し、木造住宅の耐震化を進めたい。

かめおか党

大丈夫? 能登半島地震と同規模の地震が亀岡で起きたら被害は? 活断層の現状は?



竹内博士 議員

竹内 能登半島地震と同規模の地震が亀岡で発生した場合の被害想定は。

市長 最大の被害想定は、最大震度7の内陸直下型地震で、死者530名、負傷者4030名、最大避難者数は1万8947名と予想している。

困ります! 高齢者の移動手段。地域主体型交通の担い手も不足しています!

竹内 免許返納した高齢者の移動手段については、早急に対策が必要であると感じる。地域主体型交通の担い手不足へ対策はあるのか。

市長 議員御指摘のとおり、担い手不足が課題だが根本的な解決はない。西部地区や川東地区といった、広域で人材を確保していくき、地域で支えていく仕組みづくりが必要だと考えている。

新清流会

「選ばれるまち亀岡」予算への市長の思いは



小川克己 議員

小川 桂川市政3期目の当初予算編成に込めた思いは。
市長 子どもファースト宣言をはじめ、さまざまなチャレンジやシティプロモーション

ションの成果が表れ、亀岡新時代への幕開けを迎えていると感じている。さらなる挑戦と成長を目指し、第5次亀岡市総合計画に基づき、誰もが住みやすいまちづくりを加速化するため、積極型の予算とした。子育て環境や教育環境の充実、地域防災力の強化、地域共生社会の実現への取組など、市民が主役のまちづくりを推進していきたい。

緑化フェアに向けて公園トイレの整備を

小川 昨年仙台市で開催された全国都市緑化フェアでは、115万人の来場者があり、経済効果も大きく、京都丹波での開催にも効果が期待されるが、それに向けて公園やトイレを整備する予定は。

市長 拠点会場である京都・亀岡保津川公園、亀岡運

動公園体育館や競技場周辺エリアの広場や園路の再整備を令和6年度から着手する。南郷公園などもフェアの開催までに整備する。トイレはフェアの拠点となる各公園に再整備や新設を検討し、仮設トイレの設置も含め必要数の配置を検討していきたい。

経政会

待ったなし、震災に備えた体制整備へ向けて!



平本英久 議員

平本 能登半島地震では多くの地域で断水し生活に大きな支障を及ぼしていることから、井戸水の活用を検討してはどうか。また、亀岡市で災害が起こった場合、

市長 能登半島地震では飲み水だけではなく、生活用水の確保に苦慮されており、井戸水の活用は大変効果的である。井戸の状況把握や災害井戸の掘削に対する補助金の創設など、他市町の取組を研究したい。運動公園体育館においては空調や非常電源も整備している。

道路などの整備と交通手段の拡充に

平本 都市計画道路馬堀停車場線完成を待たず、渋滞の要因である広道交差点の交差点改良を優先して拡幅する考えは。また、長年の懸案事項であり、これまでも地元自治会から要望してきた西つつじヶ丘美山台団地内へのバスの乗り入れについての見解は。

市長 広道交差点を優先し速やかに拡幅へ向けて地元調整していきたい。バスの運行にはテスト運行やバスのコース検討など、京阪京都交通をはじめ、関係機関との協議や調整が必要である。今後、実証実験ができるよう努めていく。


傍聴のご案内とインターネット中継

亀岡市議会の本会議を議場でご覧いただくこと(傍聴)ができます。

- 本会議当日に市役所8階議場までお越しいただき、傍聴届に住所・氏名を記入していただくだけで傍聴できます。
- 手話通訳などをご希望される場合は、会議の1週間前までに議会事務局にご相談ください。
- 発熱されている方、体調不良の方は傍聴をご遠慮ください。

インターネットで本会議を視聴いただけます

ご利用の際は、インターネットの検索サイトから、下記のとおり入力いただき検索してください。

亀岡市議会 議会中継 検索 



亀岡有志の会

安心・安全なまちづくりに欠かせない消防団の活動支援について問う



木村 勲 議員

木村 ①来年度の報酬額と訓練出勤費増額についての考えは。②トイレや上下水道が整備されていない屯所や老朽化している屯所を新設する考えは。

市長 ①報酬額は部長3万4000円を3万5200円、班長2万3000円を2万8600円、団員1万8000円を2万5400円に引き上げ、令和6年度から春・秋の非常招集訓練も出勤報酬の対象とする予定である。②亀岡市内の19分団に74カ所の格納庫があり、建物の状況や経過年数を参考にしている。

京都府農林水産技術センターの跡地利用について問う

木村 ①京都サンガF・Cの練習場を誘致する考えは。②文化ホールを建設する考えは。③亀岡市に貢献する跡地利用とは。

市長 ①京都パープルサンガ、京都府、関係企業や団体などと立地場所や開発手法を研究していきたい。②文化施設のあり方を考える

る懇話会からの提言書を踏まえ、ガレリアかめおかを文化活動の拠点と位置付け、一体性を持たせて中規模程度のホールを整備しようと考えている。③スポーツや環境に関する産業、亀岡の自然や食を生かしたフードテック産業を集積するエリア創出が構想されている。

共産党議員団

市民の暮らしが「大変」の認識と手立ては



大西陽春 議員

大西 高齢者や障がい者に対する負担軽減や新たな給付金などの支援策を充実させるべきではないか。

市長 本市の窓口においても、経済的な相談が多く寄せられている。

介護施策は、十分であるか？利用しやすい制度にすべき

大西 亀岡市の介護認定率が府下平均に比べて低い状態であるが、その原因は。

市長 前期高齢者の割合が、後期高齢者に比べ多いことに加え、介護予防の取組が成果を上げている。

大西 後期高齢者の数が増

せられており、依然として市民の暮らしが厳しい状況であると認識している。

大西 加齢性難聴者の補聴器購入に対して市独自の支援制度をつくるべきでは。

市長 全国一律の基準で実施されることが望ましいと考えており、本市も全国市長会を通じ、国による公的助成制度の早期創設を要望している。今後状況を調査しながら検討していく。

えているが認定率が下がっていることや市民の声から慎重に対応すべきである。京丹後市のように障がい者控除の個別通知をすべき。
市長 京丹後市の状況も調査し取り組んでいく。

木造住宅耐震改修事業費補助金に代理受領制度を採用するべきでは



林 徹司 議員

林 木造住宅耐震改修事業費補助金の拡充と合わせ、費用負担を減らすことができれば代理受領制度を採用してはどうか。

市長 代理受領制度

大地震に対して、亀岡市の水道施設は大丈夫なのか

林 能登半島地震で、インフラ整備の強靱化が重要であることが顕著となった。本市の上水道管をはじめ、全ての水道施設について、大地震に対する対策はできているのか。

市長 水道管について

府道王子並河線の速度制限強化を



土岐 新 議員

土岐 府道王子並河線は交通量が非常に多く、子どもたちの通学路にもなっているため、安全性の観点から制限速度を現在の時速40キロメートルから時速30キロメートルに変更してはどうか。

市長 小・中学校の通学路に指定しているため、安全対策として一定の交通規制を行う必要があると考えている。関係部署で連携し、亀岡警察署にも交通安全対策を講じていただくよう働きかけていく。大井町自治会からも警察署に要望している。ただし、地域ぐるみで取り組む必要があると感じている。

再犯防止推進計画の策定を

土岐 刑法犯の検挙人数が全国的に減少している中、再犯検挙率の割合は高いため、本市においても再犯防止推進計画を策定してはどうか。

健康福祉部長 再犯防止の取組は様々な

視点からの支援が必要であり、行政の施策を推進するためには、それぞれが取組の中に再犯防止の視点を持ち、誰一人取り残さない地域社会の実現に向けて取り組んでいく。

全国都市緑化フェア開催に向けての準備状況は



大石 慶明 議員

大石 令和8年秋に本市を中心とした2市1町で全国都市緑化フェアin京都丹波を開催することが決まったが、開催テ

さらなる地震対策の取り組みを

大石 能登半島地震と同規模の地震が本市で起こることを想定し避難所や住宅施設のさらなる耐震化を進めるべきでは。

総務部長 避難所に指定している自治会施設のうち7カ所が未耐震化であるが自治会向けの耐震改修事業などを活用して

学習施設整備事業補助金も内容充実を考

えたい。

まちづくり推進部長 木造住宅の耐震改修等補助制度があるが、今回の地震を受けて京都府が現行の補助限度額を拡充すると聞いている。府費の拡充を反映させるとともに市費の拡充も検討していきたい。

ゼロカーボンに向けた資源活用を



大塚 建彦 議員

大塚 山林整備の環境として、森林環境譲与税などを活用し、バイオマス発電の実証実験を計画する考

えは。

市長 市域の7割を占める森林の間伐ス

学年チーム担任制の導入を

大塚 教職員不足が大きな問題となつて

教育長 学年チーム担任制は、一定のメリットがあると思っ

過去の災害を教訓に、防災対策のさらなる推進を



山本 由美子 議員

山本 大規模災害が発生した場合、外部からの応援を円滑に受け入れ、その支援を最大限活用して早

手引きや他市の事例を参考にしながら策定について検討する。

総務部長 本市では、亀岡市地域防災計画及び亀岡市災害対策本部活用計画により、

防災、簡易トイレの拡充と被災地支援としてふるさと納税の代理受付を



梅本 靖博 議員

梅本 簡易トイレは、まだ自治会などに配備されていない。防

レについては、今後できるだけ充実していきたい。

梅本 トイレトレーラーや職員の派遣以外に、災害時の相互

総務部長 簡易トイレ

市長 協定を締結した自治体が被災した場合、代理寄附することもできると思

馬堀駅前交差点の安全対策は急務、横断者注意喚起灯の設置が必要

梅本 JR馬堀駅前交差点の安全性、特に横断歩道を利用する歩行者の妨害について本市の見解は。

喚起灯の設置を検討しているが、交差点に東西2カ所の横断歩道があることから、設置位置などについて、亀岡警察署と協議したいと考えている。

エネルギーの地産地消で脱炭素社会の実現を



小林 仁 議員

小林 化石燃料エネルギーは域内に何の利益ももたらさない。

産業観光部長 新たな木材需要・環境ビジネス・雇用の創出にもつながると考えるが、木材は植林から伐採まで30年の年月を要する。木質バイオマス発電だけで長期にエネルギーを賄うには限界があり、太陽光、風力、水力など、枯渇しない再生可能エネルギーと組み合わせ循環型社会の構築、脱炭素社会を目指す。

CLT建材で、和みのある新資料館(仮称)建設を

小林 いつまでも居たいと思わせる和みのあるCLT建材で、新資料館(仮称)を建築できないか。

教育部長 CLT建材は、人に安らぎを与えるだけでなく、耐震・耐火性を兼ね備え、環境負荷低減に貢献する建材である。来館される方の憩いの場であることはもちろん、環境先進都市にふさわしい施設となるよう検討していきたい。

現公契約要綱は条例(賃金下限値入り)に格上げを



片山 輝夫 議員

片山 労働環境の改善や地域経済活性化のためにも賃上げが必要である。この間、下請け労働者賃金は設計労務単価の上昇に追いついていない。

今こそ要綱を幅広い賃上げ効果が期待できる賃金下限値入りの公契約条例に格上げすべきである。

人工透析患者やその家族の不安を解消する施策の拡充を

片山 人工透析の患者数の推移は。市長 令和4年度まで減少していたが、令和5年度は増加に転じている。

市長 現在1団体が実施されている。今後も亀岡市福祉有償運送運営協議会と協議し、適切な運営に努めていきたい。

持続可能なまちづくりについて問う



齊藤 一義 議員

齊藤 剪定枝や生ごみを肥料として再生・利活用する設備を導入してはどうか。

備導入については、本市が目指す資源循環のまちづくりを進める上で非常に有効であると考えており、廃棄物の地域内循環や環境負荷の低減につながり、サーキュラーエコノミーへの展開も期待できると考えている。令和6年度には、費用対効果も含め、最善の方法、取組の方向性を見極めていきたい。

JR並河駅に歩行者専用踏切の設置を

齊藤 JR並河駅南側踏切について、府道王子並河線とは別に、近畿日本鉄道小倉駅の北側にあるような歩行者専用踏切を設置してはどうか。

齊藤 近畿日本鉄道では実現している。是非要望していただきたい。

自治会離れを抑制するために子ども自治会の発足を



山木 裕也 議員

山木 自治会離れの現状と今後の対策は。

市長 近年は少子高齢化の影響で役員の担い手不足などの問題を抱えている。今後は転入者に対する加入促進の取組や自治会が独自に行われた加入促進活動に対する支援なども考えていきたい。

山木 子ども自治会を発足し、地域の運営に参加してもらってはどうか。

市長 子どもが自治会の運営に参加することで、地域コミュニティにたいする関心や愛着が生まれることにつながる。また、自治会の活動に参加する子どもたちが増えることで、親が自分たちもやらなければならぬという気持ちも生まれると考える。

かめおか児童クラブ施設のトイレを早急に改修を！

山木 かめおか児童クラブの各施設、特につつじヶ丘小学校のトイレを改修する予定はあるのか。

教育長 つつじヶ丘小学校をはじめ、他の児童クラブの施設の状況を確認し、緊急などを踏まえ順次改善していきたい。

早急に避難所を地震でも使用可にする



三上 泉 議員

三上 全58避難所のうち10か所は地震では使えない。該当施設の耐震化補強や建て替えを早急に実施するよう、市として支援をすべきでは。

市長 改修は各施設管理者の判断による。現行の生涯学習施設整備事業補助金制度の充実など、耐震改修が進む、各施設管理者に働きかけたい。

公共交通は移動権の保障を前提に

三上 地域公共交通計画案に、重要な情勢であるJRやバス会社の減便問題に触れていないのは何故か。また、市民の移動権は生存権に等しく、移動権を守ることを土台とすべきではないか。

まちづくり推進部長 減便問題については、

JRや京阪京都交通に便数復元を機会あるごとに要望してきた。計画案において、減便問題を記述するとともに、引き続き早期復元の要望活動を強化する。国の交通政策基本法に記述のある生存権に該当するような事柄についても、きつちりと記載していきたい。

学生消防団活動認証制度の積極的な活用を！



法貴 隆司 議員

法貴 地域防災の中核的存在である消防団員の高齢化が進み、団員の確保が非常に厳しい状況である。本市においても学生消防団活動認証制度

を積極的に活用してはどうか。
市長 制度の必要性を検討した結果、人材確保の観点から有効であるため、導入していきたい。

空家等管理活用支援法人の指定は行うのか！

法貴 空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律が令和5年12月に施行され、自治体が空家等管理活用支援法人を指定できることになったが、本市の対応は。

まちづくり推進部長 亀岡市空家等対策の推進に関する条例の

改正も含め、情報共有を図りながら、当該支援法人の審査基準や活用の方向性を早期に固め、官民それぞれの相乗効果による空き家などの利活用が進めていけるよう検討していく。

法貴 ワンストップで対応できる団体を指定いただきたい。

市民福祉の増進に向けた地域医療の充実を



原野 実生子 議員

原野 経営強化プランでは、令和6年度から4年間の病院稼働率が80パーセントになると示されているが、その根拠は。

はハードルが高いが、過去の診療実績を基に、さらなる病床利用率の向上を目指し、診療科と意見交換を行う中で目標を設定した。目標の達成に向け積極的に取組を進めていく。

原野 救急搬送の応需率と件数は。

病院事業管理者 令和4年度の応需率は45・5パーセント、783件、本年度は令和6年1月末現在で年平均約60パーセント、件数は約1020件である。

病院事業管理者 昨年6月議会で原野議員から、病床利用率が低いと指摘していたが、懸命に病床の利用に努めた結果、令和6年1月末現在で、年平均の病床利用率は約75パーセント、12月及び1月の単月では、病床利用率が85パーセントを超えている。本院の規模の急性期病院で、年間を通じて80パーセントを超えること

原野 地域医療のために尽力いただいていることは数値を見ても一目瞭然であり、大変感謝している。今後市民福祉の増進に向け、取組を進めていただきたい。

市職員の働き方改革について、週休三日制導入の決断を



西口 純生 議員

西口 優秀で有能な職員を確保するため、仕事と生活に生きがいを感じる組織風土の変革を目指し、静岡県モデルを参考に週休3日制を導入してはどうか。

市長 週休3日制は、仕事と生活の両立を目的とした制度であり、柔軟な働き方を實現することで、離職防止、優秀な人材の確保や職員の生きがい働きがいづくりにつながる。制度化する際には、職員の意見を聞き、混乱することなく導入できるように検討していきたい。

角倉了以翁の功績を踏まえ、ベトナムとの姉妹都市盟約締結を

西口 角倉了以翁が保津川を開削してから420年を迎える。角倉了以翁は、現在のベトナム・ハノイを中心に交易を深め交流してきた。亀岡市として、世界平和も祈念し、ベトナムと姉妹都市盟約を締結してはどうか。

市長 本市は四つの姉妹都市盟約を締結し、交流を深めてきた。2026年、開削420年を迎えるにあたり、これまでの経緯などを検証する中で、ベトナムとの交流経過などについて、調査研究していきたい。

ライフラインとして最も重要な上下水道の耐震化や整備状況は



福井 英昭 議員

福井 本市の上下水道管の耐震化率は。

上下水道部長 令和3年度0.5パーセント、令和4年度0.8パーセントである。

福井 国の予算措置にも問題があるが、この進捗ではどうにもならない。ライフラインの耐震化が遅れていることについて、政府も目を覚ましてもらいたい。関係施設の耐震化率は。

上下水道部長 水道管の延長は658キロメートルで耐震適合率42・2パーセント、下水道管は355キロメートルで47・3パーセント。

福井 主要管路の状況は。

上下水道部長 水道管が破壊された場合、他自治体からの復旧援助の用意はできているのか。

上下水道部長 受援マニュアルの導入を急いでおり、マップピングシステムも駆使できると考えている。

福井 耐震化の進捗率は。

広域連携で観光戦略の充実を！



松山 雅行 議員

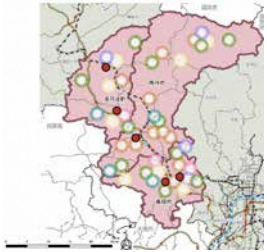
光施策になるよう近隣市町と連携協定などを結ぶ考えは。

松山 大阪・関西万博や全国都市緑化フェア in 京都丹波の開催が間近に控えている。交流人口増加を目指し、大阪府や北摂地域の自治体と広域観光連携について協議する考えは。

市長 北大阪急行電鉄の箕面萱野駅が完成し、本市にとってもいろいろな意味で可能性が生まれると考えている。箕面市や豊能町などとも連携し、直接バスを亀岡から通すようなこともあっても良いと考える。今は府境でバスが途切れている状況であるが、それをつないでいくことは今後必要であると思っている。観光誘客を含めた交流人口を増やすため、今後北摂地域としっかり連携していく。

松山 持続可能な観光

光・食・文化など地域経済が活性化する事業について、改めて前向きな連携協議を進めていく。



フェアスポット

掲載内容は、質問議員がそれぞれ執筆したものです。

市民の声

本会議を傍聴して



松井 喜和 さん
篠町在住

今回初めて市議会の一般質問を傍聴させていただきました。議員は、防災・減災対策、障がい者福祉、子育て支援、DX推進、道路安全対策、環境施策、教育関連など、どれをとっても欠かすことのできない大事な課題について、しっかりとまとめて質問をされており、市側も市長を中心に、何一つ揺るがせることなく真摯に答弁されている姿を見せていただきました。私たちの生活に関係がある身近な諸問題の進捗状況や課題などが具体的に分かりやすく実感でき、大変有意義な時間でした。また機会をつくって傍聴してみたくありません。

公共施設マネジメントに関する政策研究会を結成



これまで、本市の財政負担の軽減や安全対策を含めた機能保持、市民ニーズの多様化への対応、公共施設の統廃合や官民連携、民営化への移行など、経営システムの見直しの必要性について議論されてきました。次世代が無理なく持続可能な公共施設として維持・管理していくために、施設の在り方、耐用年数、将来ビジョン、活性化策などについて調査・研究する政策研究会が結成されました。令和7年3月までを活動期間とし、研究結果を取りまとめ、市長へ政策提言していきます。

6月議会日程

6月10日	本会議(議案提案)
18日	本会議(一般質問)
19日	議会運営委員会
20日	本会議(一般質問)
21日	本会議(一般質問)
24日	各常任委員会
25日	
26日	各常任委員会
28日	
7月1日	各常任委員会
	議会運営委員会
	本会議(議案採決)

※この日程は予定であり、変更となる場合があります。
※その他の委員会などの開催については、随時ホームページに掲載します。

常任委員会の審査内容をYouTubeで見ることができよ。詳しくは、下のQRコードを読み込んでね。

